

財務会計の基本的な考え方とフレームワークを学ぶ

財務会計基礎講座 ～ 国際会計基準導入も見据えて会計知識を総点検 ～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日 時 ▶ 2018年6月14日(木)・15日(金)
10時～17時(2日間の講座です。)
会 場 ▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町5丁目)

《開催にあたって》

本セミナーでは、財務会計制度と個々の主だった会計処理について、その意義・内容と会計処理の論点・ポイントなどを解説していきます。解説方法は、個々の会計処理について詳細を取扱うというよりも、現在の制度会計での重要な会計項目について、その会計処理の目的や理由、そして主 だった論点について解説し、財務会計を理解する上での基本的な考え方やフレームワークを理解して頂きます。また、会計実務にとどまらず、その基礎である会計学的内容、そして、現行のわが国の会計基準と国際会計基準(IFRS/IAS)の会計処理についてもできるだけ解説していきます。それにより、会計に対する理解を応用可能なものにし、今後の国際会計基準へのコンバージェンス等に対しても柔軟に対応できるスキルを身につけて頂くことが本セミナーの狙いと考えています。

(※)会計処理を理解する上では簿記の考え方がある程度必要となります。講義の中で、随時、簿記の説明を行います。希望者がいる場合、セミナー1日目終了後に、別途1時間程度、簿記の基礎的な仕組みについて解説する時間を設ける予定です。

講 師 青山公認会計士事務所 公認会計士 青山恒夫 氏

講師紹介 横浜国立大学経営学部を卒業後、中央監査法人に入所。その後独立し、青山公認会計士事務所を設立。財務会計(会計、税務)や管理会計のセミナーを各所行っており、わかりやすい解説で好評を得ている。



《申込方法》当会ホームページ(<https://www.bri.or.jp>)からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・昼食代含む) ※申込書をFAXでご送頂いたく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正 会 員	54,000円(本体価格 50,000円)	一 般	59,400円(本体価格 55,000円)
-------	-----------------------	-----	-----------------------

181010-0101 財務会計基礎講座			
ふりがな 会社名			
住 所			
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認くださいませ。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamjaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

・プログラム・

- わが国の財務報告制度
 - わが国の会計基準
 - 金融商品取引法の会計制度 … 有価証券報告書
 - 会社法の会計制度 … 計算書類、決算の流れ
 - 証券取引所の企業内容開示制度 … 適時開示制度
 - 税法の規定
- 財務諸表作成プロセス
 - 複式簿記の仕組み
 - 貸借対照表の構成と各科目の内容
 - 損益計算書の構成と各科目の内容
 - キャッシュ・フロー計算書の構成と読み方
- 財務会計の基礎概念
 - 現金主義・発生主義・実現主義
 - 取得原価主義・時価主義・割引現在価値
 - 資本取引・損益取引
 - 会計方針と継続性
- 金融資産の会計
 - 売上債権 … 売上債権の評価
 - 有価証券
 - 有価証券の区分
 - 有価証券の4つの区分、区分変更の考え方
 - 有価証券の売却単価の算定
 - 有価証券の評価
 - 時価評価、償却原価法、時価評価(全部純資産直入法)、評価減
- 棚卸資産会計
 - 棚卸資産とは
 - 棚卸資産の払出価額の算定
 - 棚卸資産の評価
 - 評価損(「低価」評価損、陳腐化評価損など)の考え方、評価損の処理(洗替法、切捨法)、評価減
- 固定資産会計
 - 固定資産とは
 - 減価償却
 - 減価償却方法、耐用年数の決定、総合償却、臨時償却
 - 減損会計
 - 減損会計とは、減損会計の考え方、減損会計適用のステップ
 - リース会計
 - ファイナンス・リースとは、所有権移転外ファイナンス・リース取引の判定、ファイナンス・リース取引の会計処理
 - 資産除去債務
 - 資産除去債務とは、資産除去債務の考え方、資産除去債務の会計処理
 - 無形資産(研究開発費)の会計処理
 - 研究費の会計処理、開発費の会計処理
- 退職給付会計
 - 退職給付会計とは
 - 意義、目的・必要性、引当金とは
 - 退職給付債務の算定
 - 基礎率、退職給付見込額、年金資産、退職給付債務
 - 退職給付費用の計算
 - 勤務費用、利息費用、期待運用収益
 - 退職給付引当金の計算
- 純資産の会計
 - 純資産とは
 - 資本の部と純資産の部の違い、資本の部と当期純利益、純資産の部と包括利益
 - 株主資本の構成と項目
 - 資本金、資本準備金、その他資本剰余金
 - 利益準備金、その他利益剰余金、自己株式
 - 株主資本以外の項目
 - 評価・換算差額等(その他有価証券評価差額金、繰延ヘッジ損益、為替換算調整勘定等)
 - 新株予約権、少数株主持分
- 収益会計
 - 収益認識の考え方 … 実現主義、発生主義
 - 工事進行基準による収益認識
- 税効果会計
 - 税効果会計とは
 - 意義、目的・必要性、税引前利益と税引後利益との対応、会計と税法との乖離
 - 一時差異の内容
 - 繰延税金資産の資産性(回収可能性)の検討
1. キャッシュ・フロー計算書
 - キャッシュ・フロー計算書とは
 - 意義、目的・必要性
 - 利益とキャッシュ・フローの違い
 - キャッシュ・フロー計算書の構成
 - 間接法による営業キャッシュ・フローの理解のしかた
 - キャッシュ・フロー計算書作成上の留意点
 - 現金同等物の範囲、リース料の計上区分など
2. まとめ(日本の会計とIFRSの会計)
 - 日本の会計基準の考え方
 - IFRSの基本的な考え方
 - 包括利益と当期純利益
 - IFRSの会計処理

※ご参加者は電車をご持参下さい。
※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。